

社団法人 日本写真測量学会 関西支部

リモートセンシング講習会 開催報告

2007 年 6 月 28 日、近畿測量専門学校内の 3 階 Windows Room においてリモートセンシング講習会を開催しました（後援：地理情報システム学会、日本リモートセンシング学会、日本国際地図学会、大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム、日本ヒートアイランド学会）。今回は、業務でのリモートセンシングの導入を考えているがデータやソフトウェアが高価で手に入らないとお思いの方、大学での研究などにリモートセンシングを利用したいと検討されている方等を対象に、「われわれの住む地表空間をマネージするためのリモートセンシング画像の解析とその応用～MultiSpec を用いたハンズオンワークショップ～」というタイトルで、飯坂譲二（カナダ・ビクトリア大学地理学科教授）先生に講師をしていただきました。

飯坂先生が準備してくださいましたパワーポイントをもとに、午前はリモートセンシングの概念について講義していただきました。午後は、アメリカ・パデュー大学が開発したリモートセンシングのフリーソフトウェア“MultiSpec”と関西地区の衛星画像データを用いて実際に操作しながらの講義となりました。

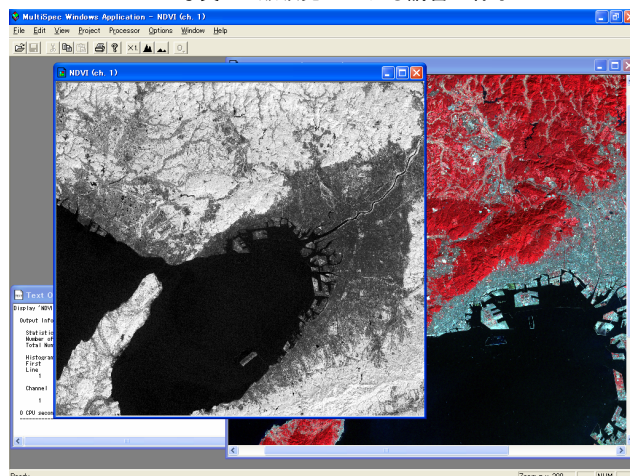
当日は、学生・官公庁職員・企業等の方々が総数 42 名も参加し、遠くは名古屋から受講された方もいました。

本講習会は、日本測量協会「測量 CPD」の学習プログラムおよび、地理情報システム学会「GIS 上級技術者の教育達成度」履修ポイントの認定を受けており、講習後に受講者一人ずつ飯坂先生より認定書が手渡されました。

最後に、飯坂先生、本講習会の開催・運営にご協力いただいた機関やご支援いただいた皆様に御礼申し上げます。



写真—1 飯坂先生による講習の様子



図—1 フリーソフトウェア“MultiSpec”の操作画面



写真—2 飯坂先生が受講生徒全員に認定書を授与